

腎臓病保存期外来

腎臓病保存期って？

腎不全が慢性的に進行して、徐々に腎機能が低下している状態を「保存期」といいます。

腎臓病とわかったら、適切な治療で腎臓の機能を維持し、体を守っていくことが非常に重要です。

「腎臓のはたらき」

腎臓は毛細血管のかたまりのような組織で、血液の濾過という重要なはたらきをしています。

腎臓は体を調整するという働きがあります。腎臓がろ過した老廃物(ろうはいぶつ)と余分な水分を捨てるのが大きな役目です。

実施日

月曜日 午前9時30分～12時30分

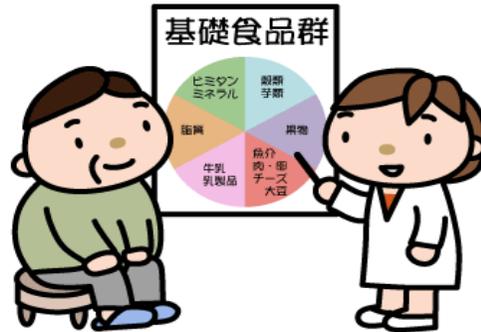
水曜日 午前9時30分～12時30分

予約窓口 0285-82-2195 (C受付:内科外来)

担当者 長谷部 川又

慢性腎臓病の進行をおさえるお手伝いをします

医師、栄養士などと一緒に看護師として患者さんの生活を支えるお手伝いをします。糖尿病がある患者さんもいずれ腎臓病になります。腎臓病と仲良く付き合っていけるよう一緒に調整していきましょう。



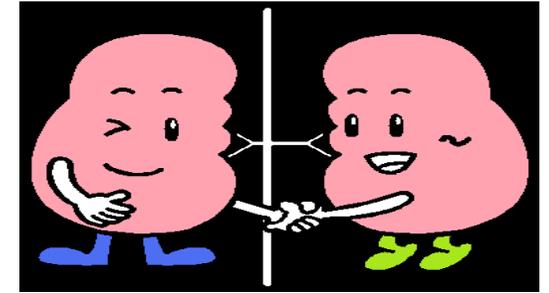
体の状態に合わせた生活

- ・日常生活上の注意
- ・食事療法
- ・薬物療法

これらの基本から患者さんに合わせた工夫を説明していきます。

趣味や運動、仕事など続けていくことも可能です。まずは、ご相談ください。

腎臓くんです



私たちが担当しています

相談内容は

- ・食事内容
- ・生活内容
- ・仕事との調整
- ・透析に関すること など



お気軽にご相談ください。